

この城、死守せん・・・

◇特集◇

「真田丸」とふくしま

～クイズまほろん博士に挑戦！～

■シリーズまほろんのヒミツ3■

資料管理の実態に迫る！之巻

■シリーズ収蔵資料紹介 24■

報告します！「ツチノコ」発見！？

■コラム■

『歴史と植物を学ぶ野外展示解説会』

「真田丸」と ふくしま

～クイズまほろん博士に挑戦！～

開館15周年記念指定文化財展「城跡の考古学」にちなみ、「真田丸」の時代のふくしまについて、まほろん博士がクイズ形式で紹介します。

文責：佐藤 啓（専門学芸員）



まほろん博士

わしは、まほろん博士じゃ。「GW まほろんまつり」でお会いしたの。みんな元気かの？

今回は、10月15日（土）に開幕するまほろん15周年記念指定文化財展「城跡の考古学」にちなんで、現在放映中の大河ドラマ「真田丸」と福島県のかかわりについて、クイズを出すぞ。



その人物のお墓（興徳寺）

第1問 真田信伊に関する問題じゃ！

真田昌幸（真田信幸・信繁兄弟のお父さんじゃ）の弟で、たびたびドラマにも登場しておるのう。この人物は、実は会津領主の戦国武将に仕えておっての、福島にいたことがあるんじゃ。

さて、その信伊が仕えた戦国武将とは、次の誰じゃろう？

①伊達 政宗 ②蒲生 氏郷 ③松平 容保



ヒント！近江国（滋賀県）の出身で、家紋は「三巴文」じゃ。



若松城古期瓦

第2問 城の共通点に関する問題じゃ！

真田家は、上田城（長野県）と沼田城（群馬県）に天守（天守閣）をもつ城を建てたがの、これらと会津若松城（鶴ヶ城）に共通するのは、次のうちどれじゃろう？答えられるかのう？

①金箔瓦 ②金の茶室 ③金の延べ棒



ヒント：金のないものは、今では普通にみられるのう。

第3問 「関ヶ原合戦」の真田氏とふくしま

「関ヶ原合戦」で真田昌幸・信繁父子と会津の上杉景勝が石田三成方じゃったことはよく知られておるが、三成と景勝が、真田氏を通して書状（手紙）のやり取りをしていたことは意外と知られていないのではないかのう。では書状は、真田氏と上杉氏の間はどこを通過して送られたと考えられるかのう？

①白河の関 ②八十里越 ③桧枝岐



ヒント：夏が来れば思い出すのう。その近くじゃ。

どうじゃったかの？答えは、15日から開幕する「城跡の考古学」の展示品の中に隠れておるから、そこで探すとよいのう。それでは、また会える日まで元気での。

表紙の1★

まほろんの野外展示にある「室町時代の館」のモデルは、須賀川市の南古館跡で見つかった16世紀の武士の居館跡です。土塁や空堀は、攻めてくる敵から防御するもので、館の正面には門や櫓があったと考えられます。日本中が戦に明け暮れた時代、こうした館が全国につくられました。堀を巡らした館は、その後、石垣や天守閣などを擁する大規模な城へと変わっていきました。

まほろんのヒミツ3

資料管理の
実態に迫る！

之巻

まほろんの収蔵資料の管理についてご紹介します。

文：大山孝正（専門学芸員）

まほろんには、福島県内の遺跡で発掘された資料が、現在、約50,000箱収蔵されています。収蔵場所は一般収蔵庫と特別収蔵庫の2か所に分かれています。

このうち、一般収蔵庫は、幅33メートル、奥行き80メートル、2階建てで、その規模は全国有数です。ここには、主に土器や石器などの遺跡からの出土品が、事業ごと、遺跡ごとに箱に入れられ、棚に整理・保管されています。



一般収蔵庫内部

特別収蔵庫には、温度・湿度の管理が必要な木製品や金属製品が保管されています。木製品には、柱や板などの建築部材、鍬や鎌などの農具、^{わん おけ}碗、^{のこぎり}桶、弓のほか、古代に荷札として使われた木簡^{もっかん}などもあります。金属製品は、鍬先や鎌、鋸などの生活用具、刀、^{やじり}鍬などの武器、耳環や馬具などの古墳の副葬品もあります。

これらの資料は、まほろんや他の博物館で展示されたり、考古学の研究にも役立てられます。そのために、どの資料をどこに保管しているかなどの情報は、資料管理の担当がデータ化し、常に活用できる状態にしています。

遺跡から見つかった資料は、昔の人々の暮らしや知恵、技術を今日に伝える貴重な文化財です。福島県内の遺跡で見つかったこれらの文化財は、県民の財産でもあります。まほろんは、これらの大切な「ふくしまの宝物」を守り、後世に伝えるという役割も果たしているのです。



特別収蔵庫内部

『コラム』
歴史と植物を学ぶ

野外展示解説会

人と植物の関わりに焦点を当てた野外展示解説会の様子を報告します。

文：山内 幹夫（当館職員）

6月26日に開催された「歴史と植物を学ぶ野外展示解説会」は、午前と午後の部を合わせて26名の方が参加されました。まほろん体験広場を囲む森は自然が豊かで、草本・木本・シダ類などを合わせて一〇〇種類近くの植物を観察することができ、このあたりの林相は那須山麓の植生の特徴が認められます。解説会では、縄文時代・古墳時代・奈良・平安時代の人々と関わりの深かった植物の観察と、当時の人々の植物利用について、まほろん職員とボランティアの方々で解説いたしました。

クリやトチ、オニグルミやブナ・コナラ・マテバシイのように実が食料となった植物、果物として食べられたウグイスカグラ・ヤマブドウ・ナシ・ガマズミ・アケビ・カキ・モモ・ウメの果実、香辛料のサンショウ、シナノキやハルニシのように樹皮から繊維を取った植物、建築材となったホオノキ・

ケヤキ・スギ・アカマツ、クロモジやツゲのような工芸材、コウゾやミツマタのように和紙の原料となった植物など、昔から数多くの植物が人間と関わり合ったことが説明され、参加した方は、植物利用の歴史に興味を深めておりました。

6月は花の季節も終わりとなり、森は青葉が繁る姿となりましたが、樹皮や葉の特徴などから植物の名前を覚え、それらの植物がいかに人々の役に立ってきたかをフィールドで学ぶイベントになりました。

次回の歴史と植物を学ぶ野外展示解説会は10月23日に第2回目を開催いたします。10月も下旬になりますと紅葉も始まり、葉の彩りを楽しむことができるでしょう。多くの方のご参加をお待ちしております。



野外展示「縄文時代の家」のそばのクリの木について解説するボランティアと参加者

報告します！

「ツチノコ」発見！？

緊急報告です！まほろん収蔵資料から「ツチノコ」発見しました！

文：阿部知己（専門学芸員）

実は、この間、まほろんの収蔵庫の中で、棚の片付けをしていると、なんとツチノコと書いてある箱をみつけました。

「ツチノコ」といえば、日本に生息するとされる未確認生物のことが最初に思い出されます。ツチノコを目撃談は各地にあり、中でもなぜか岐阜県での目撃情報が多いと聞きます。2メートルジャンプするとか、動きが早く尾をくわえて輪になって転がるとか伝えられている、胴の中央部が太いへびだといわれています。しずかに箱を開けてみると、中からでてきたのは、長さは15センチほど、太さは5センチほどで、色は薄い茶色をした、砂時計

のような形をした木製の道具でした。

調べてみると、この道具は「編み^{おもり}錘」で、下の写真のように編み台で布などを編む時に錘として利用したもののようです。しばしば「ツチノコ」と称されていて、ツツノコ、コモツチなどとも呼ばれるようです。同じような形をしたものを探してみると、収蔵庫の中には合計で7点保管してあることが分かりました。そのうち、2点は福島市にある御山千軒^{おやせん}遺跡から、残りの5点は、喜多方市にある高堂太^{たかどう た}遺跡から出土していました。7点の「ツチノコ」はどれも木を削って作られており、平安時代の遺跡から発見されていました。木製のほかに、石で代用したこともあるようです。古代からの生活の知恵が生み出した道具なんですね。



まほろんにある編み台



ツチノコ(左写真:御山千軒遺跡出土、右図:高堂太遺跡出土 縮尺任意)

でも本当は、伝説の「ツチノコ」のはく製が、箱の中から出てくれば、皆さんにお見せできたのにと、少しがっかりしました。

まほろん掲示板

- 10/9 (日) 第5回まほろん森の塾
10/13 (木)・14 (金)
文化財保護指導者研修会(郡山市で開催)
10/15 (土) まほろん 15周年記念指定文化財
展「城跡の考古学」(~12/18)
10/16 (日) 茶わんづくり①
10/23 (日) 歴史と植物を学ぶ野外展示解説会



まほろん15周年記念指定文化財展
城跡の考古学
10/15(土)~12/18(日)

- 10/29 (土)・30 (日)
シンポジウム 城跡を掘るⅠ
「城跡研究のいま」
11/12 (土) 第4回館長講演会
11/13 (日) 第6回まほろん森の塾
11/19 (土) 考古学専門研修
「弥生土器研究の諸課題」
11/20 (日) 茶わんづくり②
11/27 (日) まほろん感謝デー
12/3 (土)・4 (日)
シンポジウム 城跡を掘るⅡ
「近世城郭の展開」
12/11 (日)・17 (土)・18 (日)
竹かごをつくろう①・②・③
12/24 (土)・25 (日)
家族で門松をつくろう

★お気軽にお問い合わせください！

編集後記

まほろん通信は、本年春号から体裁を一新しました。まほろんの展示やイベント等の中から3か月ごとにトピックを選び、出来るだけ親しみやすいスタイルでお伝えしていきます。開館15周年の今年は、秋から冬にかけても記念の展示やイベント等が目白押し。来館される皆様に、文化財について楽しみながら学んでいただけるよう、職員一同、準備にあたっていますので、ご期待ください。

まほろん
通信
vol. 61

平成28年10月1日発行

開館時間 9:30 ~ 17:00 (入館は16:30まで)
休館日 月曜日(月曜日が祝日・休日の場合にはその翌日ですが、GW及び夏休み期間中は開館します)
/ 国民の祝日の翌日(土・日曜日に当たる場合は開館/年末年始(12月28日~1月4日))
入館料 無料(体験学習によっては、材料費が必要な場合があります。)

お問い合わせ



福島県文化財センター ● 白河館

〒961-0835 福島県白河市白坂一里段 86

☎ 0248-21-0700

fax 0248-21-1075

ホームページ

まほろん

検索

